

プレスリリース

2012年10月9日
有限会社エンカツ社

新刊「人と組織の心理から読み解くリスク・コミュニケーション」発売 ー 対話で進めるリスクマネジメント ー ー 宇於崎裕美・掛札逸美 共著 ー

新刊「人と組織の心理から読み解くリスク・コミュニケーション」（日本規格協会）が、全国の書店ならびにネット書店で発売されました（税込価格1,050円）。

本書は、危機管理広報や企業広報を含む報道対応と組織内コミュニケーションについてのコンサルティングを行う有限会社エンカツ社 (<http://www.enkatsu.jp/>) の代表取締役社長 宇於崎裕美（うおざきひろみ）が、健康や安全に関するリスク・コミュニケーション（特に保育・教育現場におけるリスク）を専門とする心理学者の掛札逸美（かけふだいつみ、<http://daycaresafety.org/>）氏に呼びかけ、共同執筆したものです。人間の心理面に焦点をあて、リスク・コミュニケーションのあり方を分析し、リスク・コミュニケーションを取り巻く問題の解決のヒントを示したビジネス書です。巻末には、多くの事業者が悩む「謝罪に関する法的な解釈」について、著者二人が行った弁護士へのインタビューも収録されています。

本書の詳細は、以下をご覧ください。

http://www.webstore.jsa.or.jp/lib/lib.asp?fn=/iso/iso12_04.htm

<「人と組織の心理から読み解くリスク・コミュニケーション」目次>

第1章 リスク・コミュニケーション，基本の“き”

- ・ 閉店間際の2割引セール！—身近にあるリスク・コミュニケーション
- ・ 社会・市民は“正直者”が好き
- ・ “リスクを伝える→パニック→暴動”の嘘

第2章 “コミュニケーション”とは？“リスク”とは？

- ・ リスク・コミュニケーションの定義を読み解く
- ・ そもそも、“コミュニケーション”とは何か
- ・ リスク・コミュニケーションとクライシス・コミュニケーション，それぞれの役割と特徴

- ・ 組織におけるリスク・コミュニケーションとPR活動の関係

- ・ “リスク”とは？—リスクは，事業者の目的をもとに定義される

- ・ リスクとは，“チーズの穴”のようなもの

第3章 リスク・コミュニケーションの原則

- ・ リスク・コミュニケーションと事業者のアカウンタビリティ
- ・ リスク・コミュニケーションの7原則

第4章 人間はリスクをどうとらえているか—市民・消費者の視点から

- ・ 人間は主観的で，リスクを軽視する生き物
- ・ リスクを伝えると，パニックは……“起こらない”
- ・ 問題は市民のパニックではなく，“エリート・パニック”

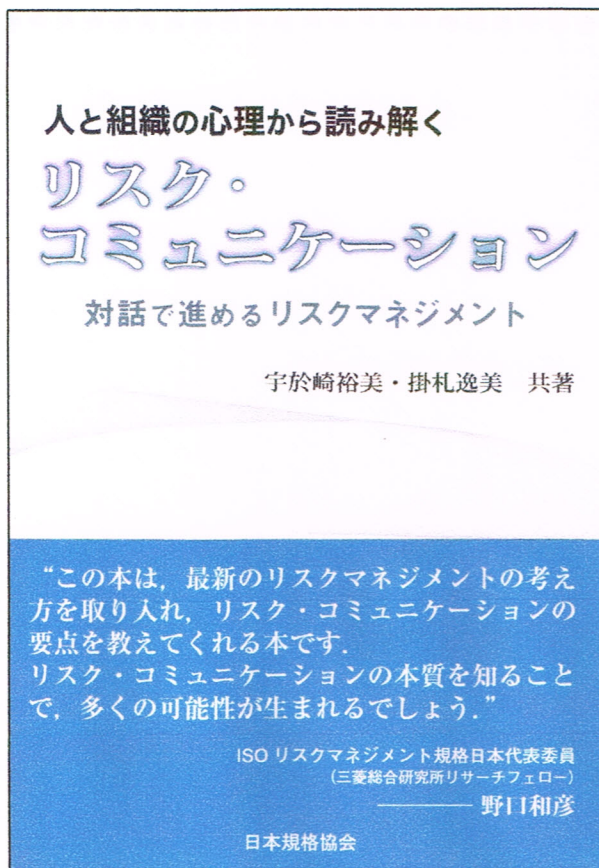
第5章 リスクと共存し、信頼を獲得する—事業者の視点から

- ・ゼロリスクとゼロリスク探求症候群
- ・リスク・コミュニケーションの欠如がゼロリスク探求症候群を生んだ？
- ・身内意識が招いた“企業城下町”の油断
- ・業界の中でリスク・コミュニケーションの先駆者になる
- ・リスク・コミュニケーションのプロを育てよう
- ・事例 1 化学工業業界の取り組み—レスポンシブル・ケア
- ・事例 2 大企業と市民団体が協力して資源保護に取り組む

第6章 リスク・コミュニケーションに終わりはない

- ・再び、リスク・コミュニケーションの意味について考える
 - ・「あなたの言っていることはわかる、でも、私は納得できない」でいい
 - ・継続は力なり
 - ・前向き思考でリスク・コミュニケーションを
- インタビュー 謝罪についての法的な解釈

<「人と組織の心理から読み解くリスク・コミュニケーション」表紙イメージ>



○本プレスリリースに関する報道関係者お問い合わせ先

エンカツ社 担当：渡部(わたなべ)

電話：03-5776-2566 FAX：03-5776-2567 メール：press@enkatsu.jp